

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

### 事業名 ぎふの花っていいね！プロジェクト推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 花き係 電話番号：058-272-1111(内4113)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,053 千円 (前年度予算額：5,178 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,178	2,059	0	0	0	0	0	0	3,119
要求額	6,053	2,496	0	0	0	0	0	0	3,557
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・花き需要の低迷が続く中、コロナ前には60億円以上あった県内の花き生産額が、令和4年には約48億円と低迷している。
- ・「ぎふの花」は、鉢花を中心に、フランネルフラワー、セントポーリア、カランコエなどナンバーワン、オンリーワン品目があるが、  
県民や県内生花店等にも、「ぎふの花」について十分認知されていない。
- ・県民等に「ぎふの花」を知ってもらう機会を創出することが必要。

### (2) 事業内容

- (1) ぎふの花のファンづくり (2,855千円)
  - ①産地見学…花き産地バスツアー、花き生産者の農場開放日（オープンファーム）の実施により県産花きの愛着アップ
  - ②入手しやすい環境づくり…県アンテナショップ、地産地消フェア等での県産花きコーナーの設置
  - ③花と緑の癒やしの効果の発信
- (2) 花き振興企画コンペティションの実施 (1,916千円)
  - ・花き振興に関するアイデアを掘り起こし、事業化を推進するためのコンペを開催
- (3) SNS等を活用した花き情報発信 (1,282千円)
  - ・県内の花きに関する情報を一元化、SNS等を活用して、不特定多数に効果的に県産花きをPR

(3) 県負担・補助率の考え方

・県の花き業界全体の活性化を図るためには、県の負担が妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	180	審査員謝金
旅費	128	費用弁償、業務旅費
需用費	382	事務消耗品費
役員費	30	通信運搬費等
委託料	4,993	ファンづくり、コンペ開催、SNS情報発信等の業務委託料
使用料	340	会議室使用料
合計	6,053	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ①ぎふ農業・農村基本計画（令和3～7年度）
- ②清流の国ぎふ花き振興計画（令和3～7年度）

(2) 国・他県の状況

無

(3) 後年度の財政負担

県が継続して財源負担する。

(4) 事業主体及びその妥当性

県の花き生産額を高める施策であり、県が実施することが妥当。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・花の需要を拡大し、花き産出額をR7に70億円

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
① 花き産出額	61億円	48億円	66億円	68億円	70億円	69%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花き活用促進にかかる新しいアイデア募集や、県内の花きに関する情報を一元化し、SNS等を活用した情報発信により、落ち込んだ花きの需要拡大を図った。応募件数30件（応募学校数：農業関連学校 4校、その他学校 2校）</li> </ul> 指標① 目標：62億 実績：48億 達成率：77%
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花き活用促進にかかる新しいアイデア募集や、県内の花きに関する情報を一元化し、SNS等を活用した情報発信により、落ち込んだ花きの需要拡大を図った。応募件数41件（応募学校数：農業関連高校 5件、その他学校 4校）</li> </ul> 指標① 目標：64億 実績：48億 達成率：75%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b> (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>・ 県が花き振興企画コンペションを開催し、新しいアイデアの提案、県産花きの魅力発信を図る。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b> (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>・ 花への興味・関心を高めると同時に、地域資源である県産花きの魅力をPRできている。</p>
<p>・ <b>事業の効率性</b> (事業の実施方法の効率化は図られているか)  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>・ 実施内容を精査し効率化を図るとともに、より効果が上がるよう努める。</p>

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民や県内生花店等に、「ぎふの花」について十分認知が広がっていない。</li> <li>・ 県民等に「ぎふの花」を知ってもらい機会を創出することが必要。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぎふの花を知ってもらい、ファンとの交流により消費拡大を図る。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	